

急ぎ過ぎだよ 人類は。

ゆるやかなネットワークを目指す

ITより
逢いてエ

雑報 縄文

いろんな考えがあるから面白い
いろんな人がいるから楽しい

No.697

2025年 3月

編集・発行 鈴木厚正

〒266-0005 千葉県緑区菅田町2-21-359

T&F 043-291-2917

も・く・じ

- 「もう一つのジェノサイド」他
- ひなまつり
- 東電刑事裁判報告会
- サイの神見学会
- 戸狩スキー
- お便利から
- 正士さんを見舞う
- け・い・じ・ばん

ページ
2
6
7
10
18
20
26
〃



泉ゆきを『心はいつも山頭火』
(日本習字普及協会)

お願いします

引き続きお読み
下さる方はお知らせを。

お知らせがないと、
ご覧になってないと

思い、送付を中止します。
残念ですが。

メール配信をご希望の方は、

<suzukikosei.san@gmail.com>へ。

三宅伊都子さんが

対応して下さいます。

題 字 放 佐村隆英和尚 (千葉県長柄町本光寺住職)
カ ッ ト 放 泉ゆきをさん (にっぽん箱絵の会会長)

印刷機 リソグラフ RZ 330

※この号の切手は、自然の記録⑤

∞ 正士さんを見舞う ∞

2月9日(日)、伊藤(康)、久米、原田、山崎、竹中、若林さんと、正士さんのお宅に伺いました。正士さんから次のように状況が話されました。

「時どき咳と血痰が出る。夜、小用に立つ回数が増え、眠りが浅い。血糖値が上がり、血中酸素濃度は98前後が普通とされているが、最大で92、78まで下がったことがある。倦怠感があり、ふらつく。ホスピスが空いたら入る予定だが、まだ連絡がない。ホスピスに入ると面会はできなくなる。ホスピスに入ると1〜2ヵ月で亡くなるという……」

水窪の宛屋千づるさんから読まれたヒエゴはんのばち餅をさし上げ、一人ひとり言葉をかき、手を握った。ばくも「この30年間、一番多く接したのは正士さん。雑誌にのった名前も正士さんが一番多い。それだけ大きな存在だった、ありがとう」と手を握った上、ハグをした。そしてもう一度、正士さんをハグしたいと望みながら、9日から長崎の原爆資料館を訪ねるという内田美智子さんの分もハグをした。

正士さんは、ホスピスに入ると1〜2ヵ月というが、ばくは信じない。2年前の7月に「余命半年」と告げながら、1年7ヵ月も余計にがんばっている正士さん、きっと裏切ってくれる。
くれ